

国語採点基準

(総点100点)

- [注意]
- この配点は、標準的な配点を示したものである。
 - 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
 - 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
 - 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
 - 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	4											3					2				1										配点											
	4											3					2				1																					
	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3	2					1														
	(例) 兄弟となつたからには覚悟を決めて修業に耐えようといふ思い。											(例) 賀状交換によって自分という存在の承認のされ方を実感したとき。					(例) 借りた物の返済にあてること。				(例) 借りの返済にあてること。																					
	いつもなら											個人主義が浸透している社会。					おおく				探寸 優勢 豊富 告げる() 保つ() いこ(い) かつあい なが(める) せつやく きざ(む)																					
	4	4	4	2	3	3	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
	20											20					10				30																					

※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。

3. 表現・表記
 文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。

2. 内容
 目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。AとBの表現の違いに触れているか。話題が適切で説得力があるか。自分の考えとその理由が明確に表現されているか。

1. 形式
 文字数が条件に合っているか。